SANZE SNOW SWEEPER

雪サロンin庄内2017　事例発表

鶴岡市三瀬地区自治会
さんぜスノースイーパーの活動と
除雪を介した「労力交換」事業

三瀬地区の紹介

世帯数　　502世帯
人口　　1,422人
鶴岡市役所より車で約２５分
鶴岡駅→三瀬駅約１５分

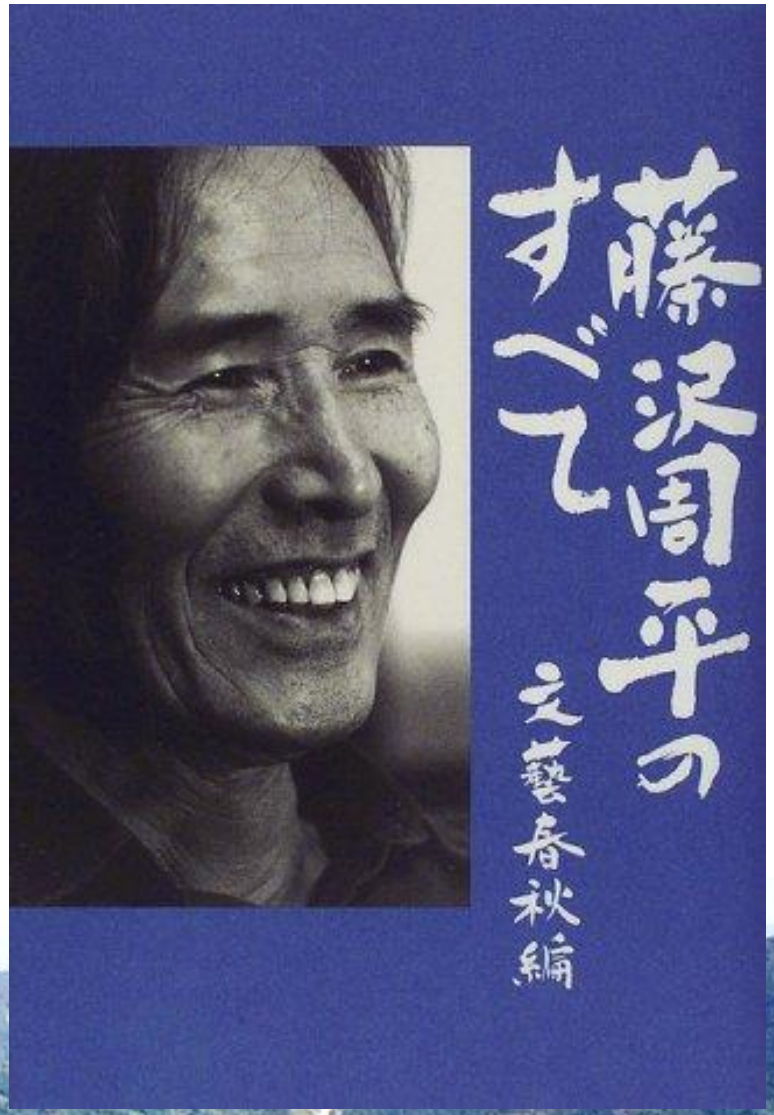
小学生	56名	3.9%
中学生	37名	2.5%
高校生	42名	2.9%
７５歳以上	322名	22.5%

三瀬地区の紹介

藤沢周平作品
「三年目」の舞台となる
宿場町のモデル。

江戸時代は宿場町として
栄えた。

現在は鶴岡圏の勤め人が
多数を占め、農業、職人、
漁業など様々な人が暮らす。

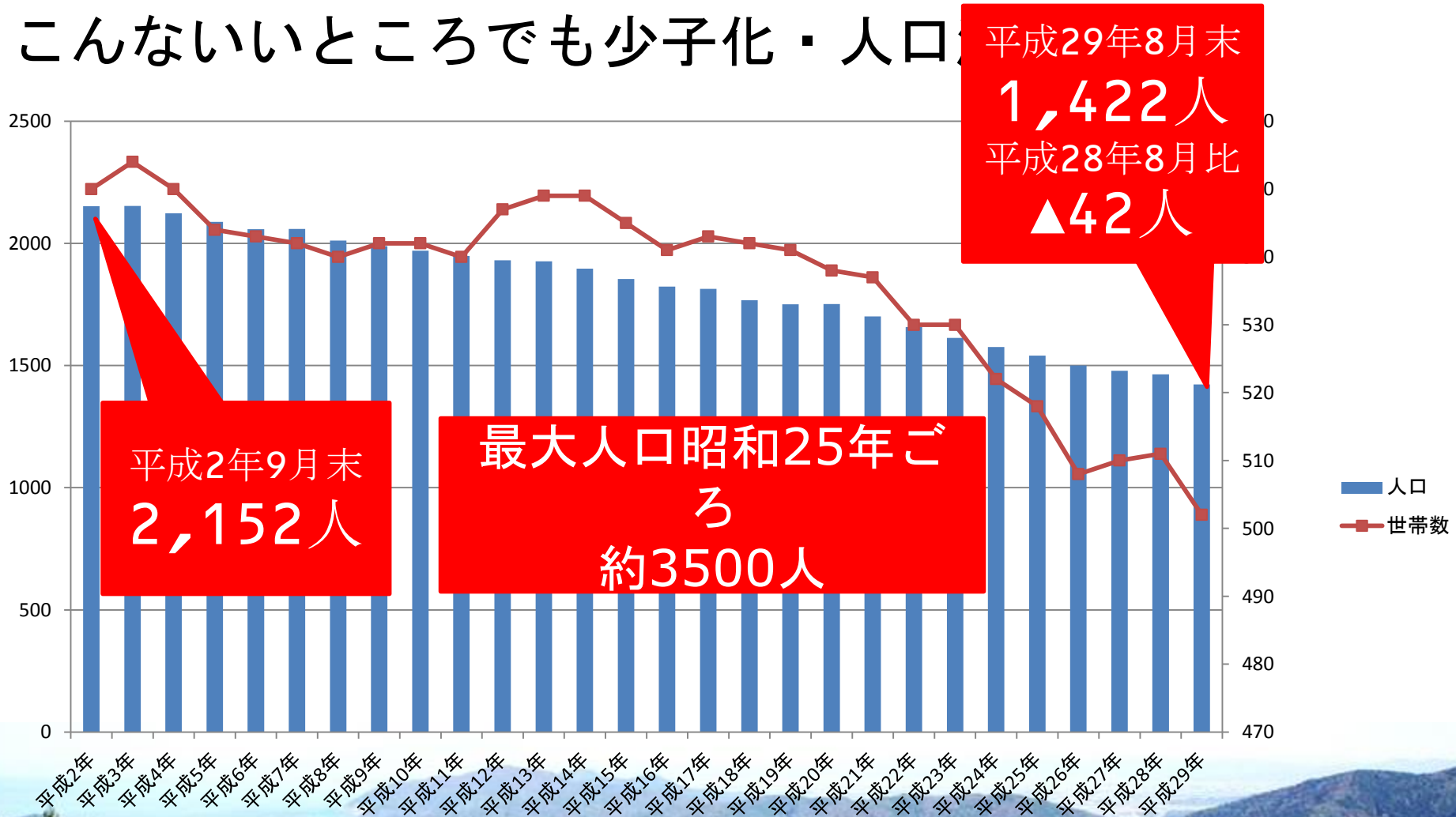


三瀬地区の紹介

- 高齢者福祉施設
- 内科医（週１回）
- JR三瀬駅
- 八森山スキー場
- 三瀬海水浴場
- 漁港
- 山形県栽培漁業センター
- バス停
- 歯医者
- 高速道路ＩＣ
- 三瀬保育園
- 豊浦小学校
- 豊浦中学校
- 三瀬郵便局
- 荘内銀[illegible]瀬支店
- ＪＡ三瀬支店
- Ａコープ三瀬支店
- ガソリンスタンド
- コンビニ
- 旅館３軒

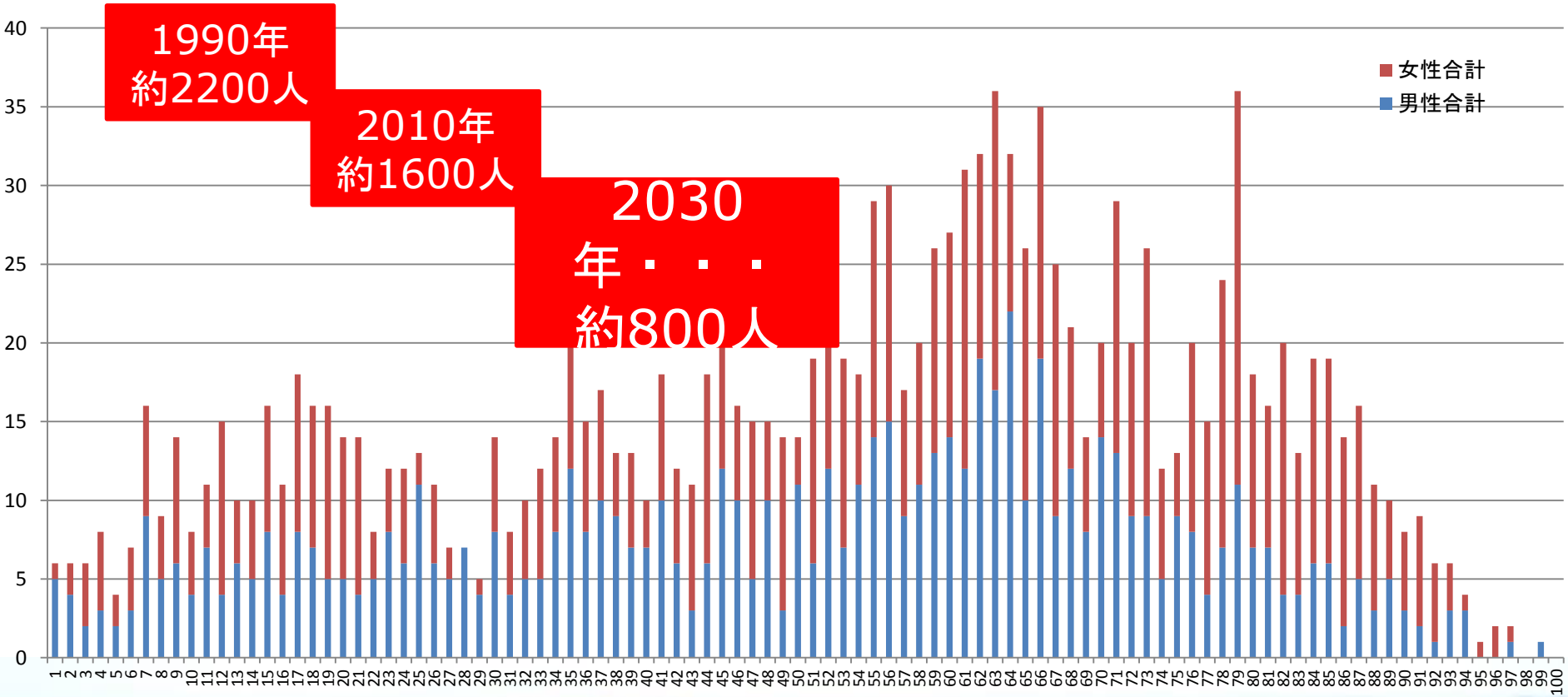
三瀬地区の問題

こんないいところでも少子化・人口



三瀬地区の問題

こんないいところでも少子化・人口減・・・



問題解決に向けた事業

基本的には人口減・コミュニティの保持への対策！

婚活事業	再生エネルギー事業	除雪ボランティア事業
防災事業	公園造成事業	スキー場経営
海水浴場経営	夜光虫観察体験	飲み会

問題解決に向けた事業

基本的には人口減・コミュニティの保持への対策！

婚活事業	再生エネルギー事業	除雪ボランティア事業
防災事業	公園造成事業	スキー場経営
海水浴場経営	夜光虫観察体験	飲み会

さんぜスノースイーパー

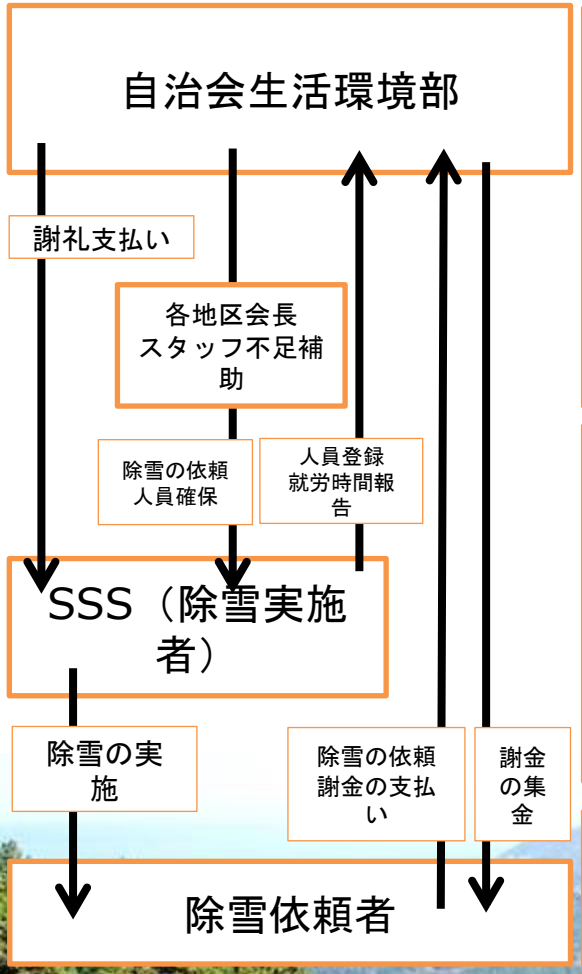
除雪ボランティア事業

＜必要性＞
◇基本的には海沿いなので雪は少ない。
　＝雪への備えが割と甘い。
　※とはいえ一気に雪が積もる場合も・・・。
◇２０％以上が75歳以上。
　＝老々世帯、独居老人世帯が５０軒ほど。
◇近所付き合いの一環で除雪を行うが

さんぜスノースイーパー

さんぜスノースイーパーの仕組み

＜組織＞



＜作業内容＞

・全戸名簿管理
・除雪の受付と依頼
・就労時間まとめ
・予算組み
・除雪機の管理
・依頼者への集金

＜S.S.S＞
・除雪作業
・作業時間の申告

＜S.S.S.リーダー＞
・危険個所巡回
・作業員の収集

＜除雪依頼者＞
・除雪の依頼
・謝金の支払い

＜目的＞
一人暮らし又は高齢者のみの世帯で身体の都合上除雪の作業ができない人に対し、除雪作業を行う。また、集落内の冬期危険個所の巡視と対応も行う。

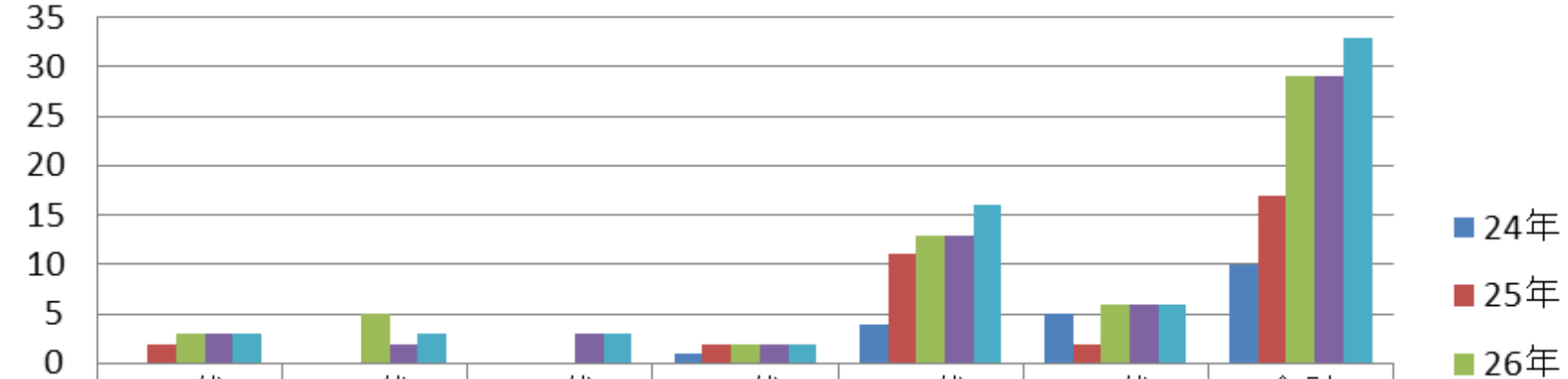
＜作業内容＞
・雪が積もって通行困難な場合、玄関先から最寄幹線道路（市・県等が除雪する道路）までの通路を確保する。出動依頼はなく、各自の判断で実施。
依頼者と相談だが、作業は概ね朝。
・SSSリーダーが集落内巡回。避難道、歩道等必要と判断した場合、SSSメンバーに集合をかけ、除雪等の作業を行う。

＜費用・予算＞
☆有償ボランティアの時給：８００円
（うち５００円実費・うち３００円自治会負担）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	10	14	18	15	12
危険箇所等	0	1	3	3	6
隊員数	10	17	29	29	33
延活動時間	62時間5分	30時間47分	58時間15分	74時間10分	71時間45分

さんぜスノースイーパー

隊員の年代と人数



	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
24年	0	0	0	1	4	5	10
25年	2	0	0	2	11	2	17
26年	3	5	0	2	13	6	29
27年	3	2	3	2	13	6	29
28年	3	3	3	2	16	6	33

事業採択

事業採択

事業採択

◇高齢者世帯のみではなく雪に関する集落内問題に対し対処できる組織に！
→自治体の対応のみではない「自助・共助」を実践。
◇組織が今後も末永く続き、高齢者でも、子供でも安心して暮らせる集落を目指す！
→６０歳以上がほとんどの組織を幅広い年齢で構成できるように！未だ道半ば・・・
◇S.S.S.の活動が地域コミュニティ保持の一翼に。
→声掛けや見守り、他人への興味等地域の維持に必要な昔ながらの感覚の醸成目指す。

さんぜスノースイーパー

さんぜスノースイーパーのネクストステージ！

結

田植えなどの時互いに力を貸し合うこと。
また、その人。てまがえ。（広辞苑より）

さんぜスノースイーパー

除雪を介した「労力交換」で地域間交流

他地域へ輸出！

結

除雪作業

他地域から輸入！

海岸清掃

さんぜスノースイーパー

除雪を介した「労力交換」で地域間交流

さんぜスノースイーパー

除雪を介した「労力交換」で地域間交流

＜見込むメリット＞

・行事最大人数必要時の人員招集力アップ。
・除雪技術の引き継ぎ
・交流人口増加による地域活性
・他地区との情報共有、情報発信
・ボランティア享受者の精神負担軽減

＜考えられる問題点＞

・労力交換地域のマッチング、妥当性
・交通費等の費用

さんぜスノースイーパー

除雪を介した「労力交換」で地域間交流

10月初旬　S.S.S.活動内容住民周知、新隊員募集

11月中　**<u>他地域からボランティア受け入れ/交流会実施</u>**
S.S.S.結団式・活動説明会

12月初旬　除雪方法・除雪機利用説明会実施
市が配備している除雪機使用方法を専門家より指導

☆この後３月（雪が降らなくなる）まで各自活動。防寒着/長靴/除雪器具配布

<u>☆1月末～2月中旬　他地域に除雪に出動　4回程度予定</u>

3月末　活動反省会実施　謝金支払　各自の活動回数・次年度の改善点等を打ち合わせ予定

さんぜスノースイーパー

除雪を介した「労力交換」で地域間交流

10月初旬　S.S.S.活動内容住民周知、新隊員募集

11月中　**<u>他地域からボランティア受け入れ/交流会実施</u>**

S.S.S.結団式・活動説明会

12月初旬　除雪　実施

導

☆この後3　募

布

☆1月末～2月　除雪に　予定

3月末　活動反省会実施　謝金支払　各自の活動回数・次年度の改善点等を打ち合わせ予定

海岸清掃

空き家片付け

スキー場草刈り

さんぜスノースイーパー

除雪を介した「労力交換」で地域間交流

10月初旬　S.S.S.活動内容住民周知、新隊員募集

酒田市
日向
地区

鶴岡市
温海
地区

募集中

1[illegible]地域[illegible]ィア[illegible]会実施
S[illegible]説[illegible]
雪[illegible]
が酒[illegible]雪機[illegible]明家より指導
☆こ[illegible]（雪が降らな[illegible]まで各自活動。[illegible]長靴/除雪器具配布

☆1月末～2月中旬　他地域に除雪に出動　2回程度予定

3月末　活動反省会実施　謝金支払　各自の活動回数・次年度の改善点等を打ち合わせ予定

さんぜスノースイーパー

２８年度実績　酒田市日向地区との労力交換

結

除雪
作業

空き家
掃除

外部との連携・協力・受け入れ

地区・町内会単位では凝り固まる。外の人を飲み会に呼ぶだけでも刺激に。
自分の街だけではなく、周囲の街、庄内全体等幅広い視野をもつべき。
人口が少ない時代に突入。広範囲での考え方や連携が必要。

課題解決

「さんぜスノースイーパー」
～除雪を介した「労力交換」で地域間交流～

さんぜスノースイーパー

コミュニティ保持のため持続する事業を目指します！